

# 第 64 回「山形県内家計の消費動向調査」結果

## (令和 4 年 6 月調査)

消費マインドは足踏み状態。先行きは悪化の見込み

### 【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲105.3 (前期比 2.7 ポイント上昇)と、小幅ながら 2 期ぶりの改善となった。内訳は、景気判断指数が▲57.3 (前期比 3.1 ポイント上昇)と 2 期ぶりに改善、暮らし向き判断指数が▲48.0 (前期比 0.4 ポイント下落)とほぼ横ばいとなった。
- **今後の見通し**は、▲109.8 (今回調査比 4.5 ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。内訳は、景気判断指数が▲57.8 (今回調査比 0.5 ポイント下落)、暮らし向き判断指数が▲52.0 (今回調査比 4.0 ポイント下落)とともに悪化が見込まれている。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」は低下となった一方、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」「海外旅行」は上昇となった。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得 (収入の手取り額) が 481 千円と前年同期に比べて 55 千円の増加となった。支出面では支出計が 498 千円と前年同期比で 111 千円の増加となった。その結果、平均消費性向 (家計支出/可処分所得) は 103.5% となり、前年同期に比べて 12.7 ポイントの上昇となった。
- **商品の値上げによる家計への影響**について、値上げが家計にどの程度影響しているか尋ねたところ、「影響している」が 68.9%と最も多く、次いで「やや影響している」が 26.6%となり“影響している”(「影響している」+「やや影響している」と回答した割合は 95.5%と、9 割以上が家計へ一定以上の影響を感じている結果となった。

令和 4 年 7 月  
株式会社フィデア情報総研

## 目次

I.	消費指数（総括）	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
（1）	景気判断の概況	3
（2）	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
（1）	暮らし向き判断の概況	5
（2）	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
（1）	支出意向D Iの推移	7
（2）	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	商品の値上げによる家計への影響について	11
（1）	値上げの家計への影響について	11
（2）	値上がりした商品等に対する実感について	12
（3）	値上げへの対策について	13
VI.	調査の概要	14

## I. 消費指数（総括）

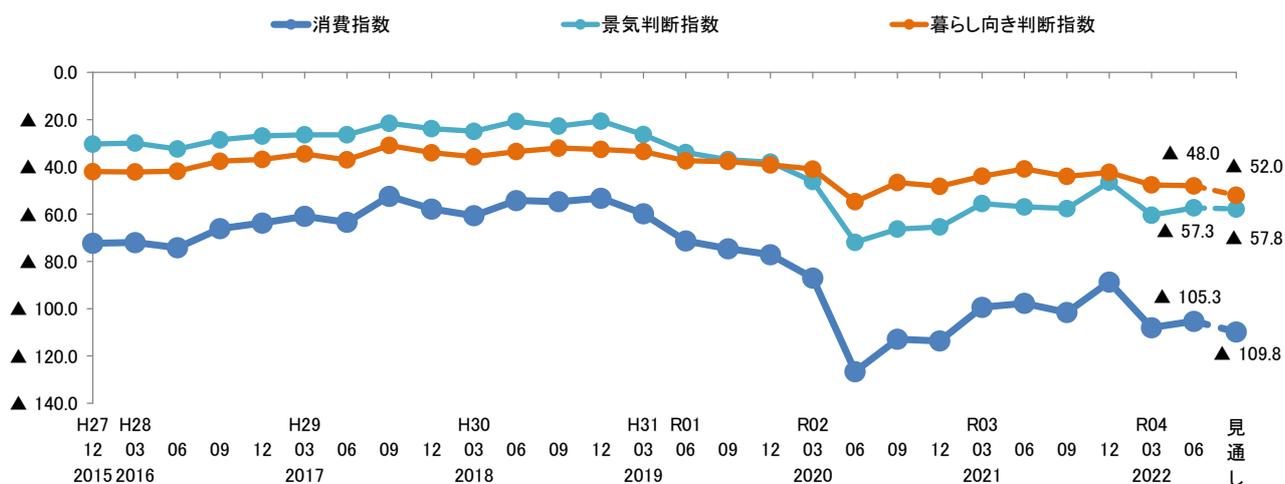
### ～消費マインドは足踏み状態。先行きは悪化の見込み～

消費指数は▲105.3（前期比 2.7 ポイント上昇）と、小幅ながら 2 期ぶりの改善となった。内訳は、景気判断指数が▲57.3（前期比 3.1 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善、暮らし向き判断指数が▲48.0（前期比 0.4 ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。

今後の見通しについては、消費指数が▲109.8（今回調査比 4.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。内訳は、景気判断指数が▲57.8（今回調査比 0.5 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲52.0（今回調査比 4.0 ポイント下落）とともに悪化が見込まれている。

経済活動の再開、行動制限の緩和が進み、消費マインドは一部では持ち直しの動きがみられるものの、物価上昇に伴う家計の負担は増しており、総じてみれば足踏み状態となっている。先行きについては、ロシア・ウクライナ情勢や円安の影響を不安視している様子が見え、この先の消費行動に対して慎重姿勢が強まると予測される。

図表 1 消費指数の推移



#### 【指数の見方】

消費指数は（1）景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と（2）暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
29年	6月	▲ 63.4	▲ 26.4	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 20.1	▲ 37.0	▲ 7.0	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 12.0
	9月	▲ 52.4	▲ 21.5	▲ 5.1	▲ 0.1	▲ 16.3	▲ 30.9	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 5.1	▲ 10.5
	12月	▲ 57.8	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 0.3	▲ 18.7	▲ 34.0	▲ 7.4	▲ 8.7	▲ 6.2	▲ 11.7
30年	3月	▲ 60.6	▲ 24.9	▲ 4.3	▲ 0.4	▲ 20.2	▲ 35.7	▲ 7.1	▲ 9.9	▲ 7.0	▲ 11.7
	6月	▲ 54.2	▲ 20.7	▲ 2.9	0.4	▲ 18.2	▲ 33.5	▲ 6.8	▲ 9.8	▲ 5.5	▲ 11.4
	9月	▲ 54.7	▲ 22.7	▲ 4.2	▲ 0.8	▲ 17.7	▲ 32.0	▲ 7.0	▲ 9.4	▲ 5.0	▲ 10.6
31年	12月	▲ 53.2	▲ 20.6	▲ 4.3	0.6	▲ 16.9	▲ 32.6	▲ 7.0	▲ 8.7	▲ 6.0	▲ 10.9
	3月	▲ 59.8	▲ 26.3	▲ 6.6	▲ 0.6	▲ 19.1	▲ 33.5	▲ 6.5	▲ 9.5	▲ 6.6	▲ 10.9
	6月	▲ 71.3	▲ 33.9	▲ 8.9	▲ 3.4	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 8.2	▲ 9.8	▲ 7.3	▲ 12.1
01年	9月	▲ 74.6	▲ 36.9	▲ 9.8	▲ 5.4	▲ 21.7	▲ 37.7	▲ 9.6	▲ 9.7	▲ 6.8	▲ 11.6
	12月	▲ 77.1	▲ 38.0	▲ 10.1	▲ 5.6	▲ 22.3	▲ 39.1	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 11.9
	3月	▲ 87.0	▲ 46.1	▲ 15.6	▲ 10.2	▲ 20.3	▲ 40.9	▲ 9.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 12.2
02年	6月	▲ 126.6	▲ 71.9	▲ 25.1	▲ 25.3	▲ 21.5	▲ 54.7	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 13.1	▲ 15.2
	9月	▲ 112.9	▲ 66.3	▲ 23.0	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 46.6	▲ 11.5	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 13.1
	12月	▲ 113.6	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 23.4	▲ 18.5	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3
03年	3月	▲ 99.4	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9
	6月	▲ 97.7	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7
	9月	▲ 101.6	▲ 57.6	▲ 17.8	▲ 15.9	▲ 23.9	▲ 44.0	▲ 10.2	▲ 9.7	▲ 12.0	▲ 12.1
04年	12月	▲ 88.7	▲ 46.4	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 10.6	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 12.3
	3月	▲ 108.0	▲ 60.4	▲ 18.2	▲ 14.5	▲ 27.7	▲ 47.6	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.0	▲ 13.4
	6月	▲ 105.3	▲ 57.3	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 29.2	▲ 48.0	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 10.4	▲ 13.9
	見通し	▲ 109.8	▲ 57.8	▲ 17.5	▲ 12.3	▲ 28.0	▲ 52.0	▲ 12.3	▲ 13.3	▲ 11.9	▲ 14.5

(前期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
29年	6月	▲ 2.5	0.0	0.7	2.9	▲ 3.6	▲ 2.5	0.0	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 0.9
	9月	11.0	4.9	0.1	1.0	3.8	6.1	0.7	1.2	2.7	1.5
	12月	▲ 5.4	▲ 2.3	0.3	▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 1.1	0.3	▲ 1.1	▲ 1.2
30年	3月	▲ 2.8	▲ 1.1	0.5	▲ 0.1	▲ 1.5	▲ 1.7	0.3	▲ 1.2	▲ 0.8	0.0
	6月	6.4	4.2	1.4	0.8	2.0	2.2	0.3	0.1	1.5	0.3
	9月	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 1.2	0.5	1.5	▲ 0.2	0.4	0.5	0.8
31年	12月	1.5	2.1	▲ 0.1	1.4	0.8	▲ 0.6	0.0	0.7	▲ 1.0	▲ 0.3
	3月	▲ 6.6	▲ 5.7	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 0.9	0.5	▲ 0.8	▲ 0.6	0.0
	6月	▲ 11.5	▲ 7.6	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 3.9	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.2
01年	9月	▲ 3.3	▲ 3.0	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.4	0.1	0.5	0.5
	12月	▲ 2.5	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.4	0.8	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.3
	3月	▲ 9.9	▲ 8.1	▲ 5.5	▲ 4.6	2.0	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.3
02年	6月	▲ 39.6	▲ 25.8	▲ 9.5	▲ 15.1	▲ 1.2	▲ 13.8	▲ 3.8	▲ 2.0	▲ 5.0	▲ 3.0
	9月	13.7	5.6	2.1	3.7	▲ 0.2	8.1	1.3	2.6	2.1	2.1
	12月	▲ 0.7	0.9	▲ 0.5	▲ 1.8	3.2	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 0.5	0.3	▲ 0.2
03年	3月	14.2	9.9	5.3	4.9	▲ 0.3	4.3	2.1	2.0	▲ 1.2	1.4
	6月	1.7	▲ 1.4	0.4	1.1	▲ 2.9	3.1	0.6	0.4	1.9	0.2
	9月	▲ 3.9	▲ 0.7	0.0	1.5	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 0.4
04年	12月	12.9	11.2	6.1	5.5	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	0.8	1.5	▲ 0.2
	3月	▲ 19.3	▲ 14.0	▲ 6.5	▲ 4.1	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 0.7	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 1.1
	6月	2.7	3.1	1.7	2.9	▲ 1.5	▲ 0.4	0.0	▲ 1.5	1.6	▲ 0.5
	見通し	▲ 4.5	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.7	1.2	▲ 4.0	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 1.5	▲ 0.6

(前年同期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
29年	6月	10.8	6.0	3.9	4.2	▲ 2.1	4.8	1.5	1.6	0.5	1.2
	9月	13.7	7.0	2.2	4.3	0.5	6.7	1.7	2.0	2.1	0.9
	12月	5.9	3.1	1.3	3.5	▲ 1.7	2.8	0.1	1.4	1.3	0.0
30年	3月	0.3	1.5	1.6	3.6	▲ 3.7	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 0.6	0.1	▲ 0.6
	6月	9.2	5.7	2.3	1.5	1.9	3.5	0.2	0.4	2.3	0.6
	9月	▲ 2.3	▲ 1.2	0.9	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1
31年	12月	4.6	3.2	0.5	0.9	1.8	1.4	0.4	0.0	0.2	0.8
	3月	0.8	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 0.2	1.1	2.2	0.6	0.4	0.4	0.8
	6月	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 6.0	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 3.9	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8	▲ 0.7
01年	9月	▲ 19.9	▲ 14.2	▲ 5.6	▲ 4.6	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 1.0
	12月	▲ 23.9	▲ 17.4	▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 6.5	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.0
	3月	▲ 27.2	▲ 19.8	▲ 9.0	▲ 9.6	▲ 1.2	▲ 7.4	▲ 2.5	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 1.3
02年	6月	▲ 55.3	▲ 38.0	▲ 16.2	▲ 21.9	0.1	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 3.1
	9月	▲ 38.3	▲ 29.4	▲ 13.2	▲ 16.2	0.0	▲ 8.9	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 4.2	▲ 1.5
	12月	▲ 36.5	▲ 27.4	▲ 13.4	▲ 17.8	3.8	▲ 9.1	▲ 3.9	▲ 0.8	▲ 3.0	▲ 1.4
03年	3月	▲ 12.4	▲ 9.4	▲ 2.6	▲ 8.3	1.5	▲ 3.0	▲ 1.6	2.1	▲ 3.8	0.3
	6月	28.9	15.0	7.3	7.9	▲ 0.2	13.9	2.8	4.5	3.1	3.5
	9月	11.3	8.7	5.2	5.7	▲ 2.2	2.6	1.3	1.3	▲ 1.0	1.0
04年	12月	24.9	19.0	11.8	13.0	▲ 5.8	5.9	2.1	2.6	0.2	1.0
	3月	▲ 8.6	▲ 4.9	0.0	4.0	▲ 8.9	▲ 3.7	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 1.5
	6月	▲ 7.6	▲ 0.4	1.3	5.8	▲ 7.5	▲ 7.2	▲ 1.3	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 2.2
	見通し	▲ 8.2	▲ 0.2	0.3	3.6	▲ 4.1	▲ 8.0	▲ 2.1	▲ 3.6	0.1	▲ 2.4

## II. 消費指数（内訳）

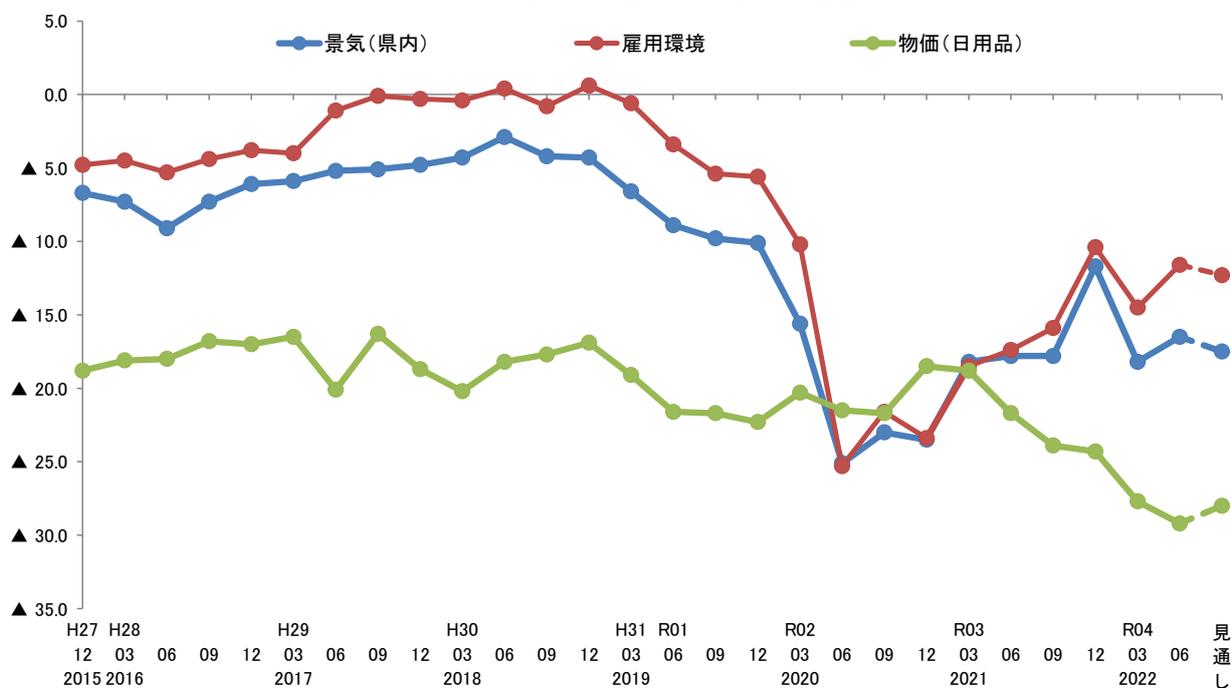
### 1. 景気判断

#### （1）景気判断の概況

景気判断指数は▲57.3（前期比 3.1 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善した。景気判断指数を構成する 3 つの指数については、「景気（県内）」が▲16.5（前期比 1.7 ポイント上昇）、「雇用環境」が▲11.6（前期比 2.9 ポイント上昇）、「物価（日用品）」が▲29.2（前期比 1.5 ポイント下落）と、「景気（県内）」「雇用環境」は 2 期ぶりの改善、「物価（日用品）」は 6 期連続の悪化となった。

今後の見通しについては、▲57.8（今回調査比 0.5 ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。

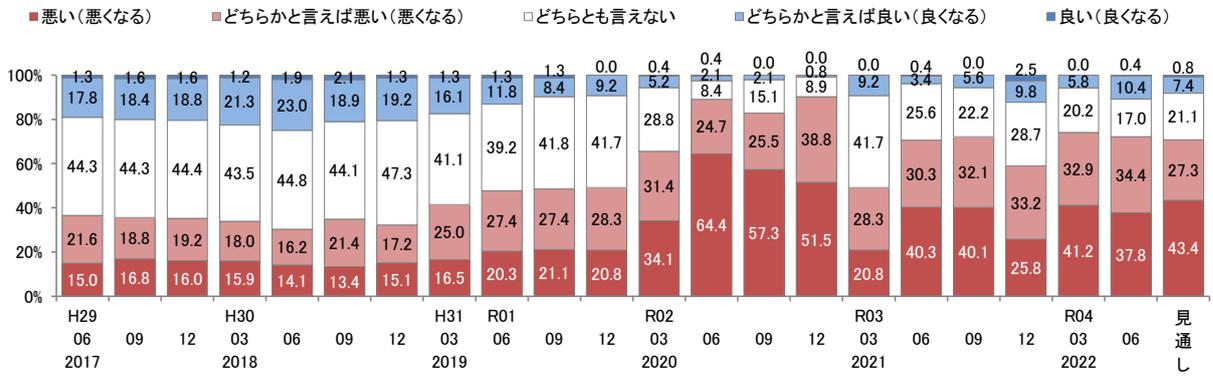
図表 3 景気判断指数（内訳）の推移



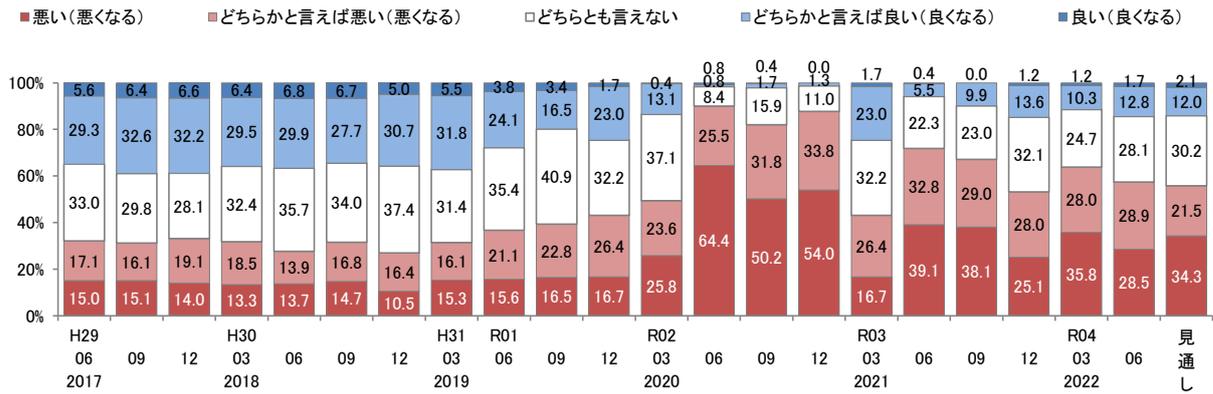
調査時期	景気判断指数				
	景気（県内）	雇用環境	物価（日用品）		
02年 12月	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 23.4	▲ 18.5	
03年 3月	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	
03年 6月	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 17.4	▲ 21.7	
03年 9月	▲ 57.6	▲ 17.8	▲ 15.9	▲ 23.9	
03年 12月	▲ 46.4	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 24.3	
04年 3月	▲ 60.4	▲ 18.2	▲ 14.5	▲ 27.7	
04年 6月	▲ 57.3	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 29.2	
	(前期比)	(3.1)	(1.7)	(2.9)	(▲ 1.5)
	(前年同期比)	(▲ 0.4)	(1.3)	(5.8)	(▲ 7.5)
04年 見通し	▲ 57.8	▲ 17.5	▲ 12.3	▲ 28.0	
	(前期比)	(▲ 0.5)	(▲ 1.0)	(▲ 0.7)	(1.2)

(2) 景気判断の推移

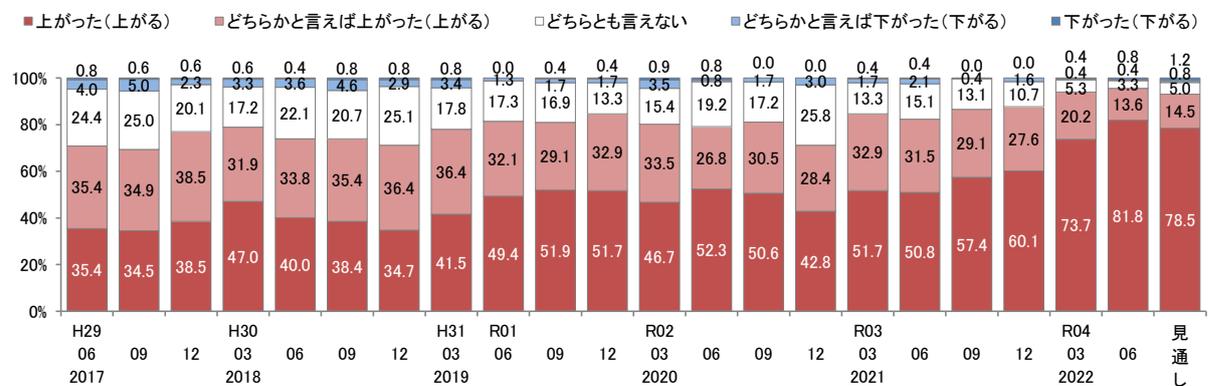
① 景気 (県内)



② 雇用環境



③ 物価 (日用品)



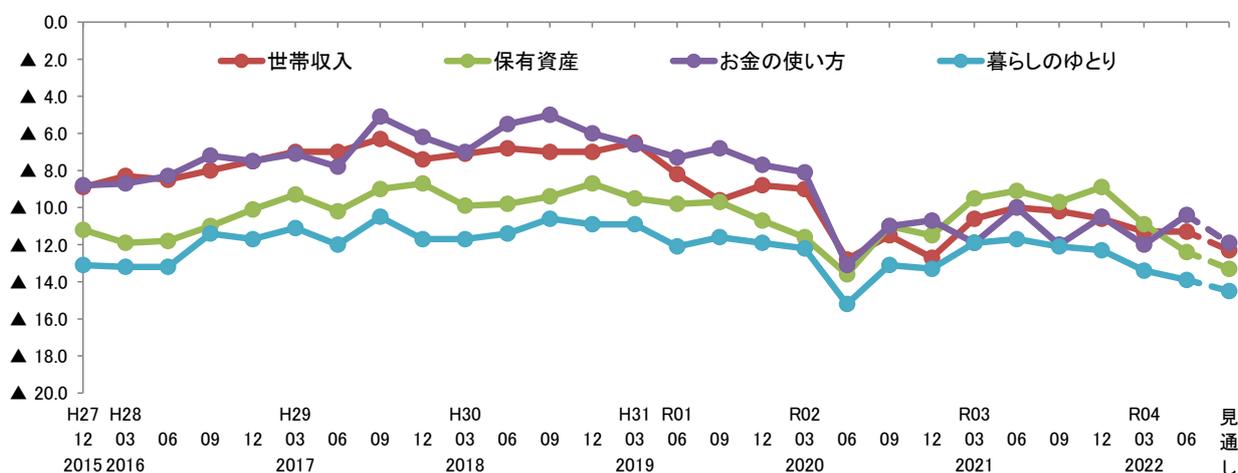
## 2. 暮らし向き判断

### (1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲48.0（前期比 0.4 ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。暮らし向き判断指数を構成する 4 つの指数については、「世帯収入」が▲11.3（前期比±0.0 ポイント）、「保有資産」が▲12.4（前期比 1.5 ポイント下落）、「お金の使い方」が▲10.4（前期比 1.6 ポイント上昇）、「暮らしのゆとり」が▲13.9（前期比 0.5 ポイント下落）と、「世帯収入」は横ばい、「保有資産」は 2 期連続の悪化、「暮らしのゆとり」は 4 期連続の悪化、「お金の使い方」は一進一退の推移となった。

今後の見通しについては、▲52.0（今回調査比 4.0 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

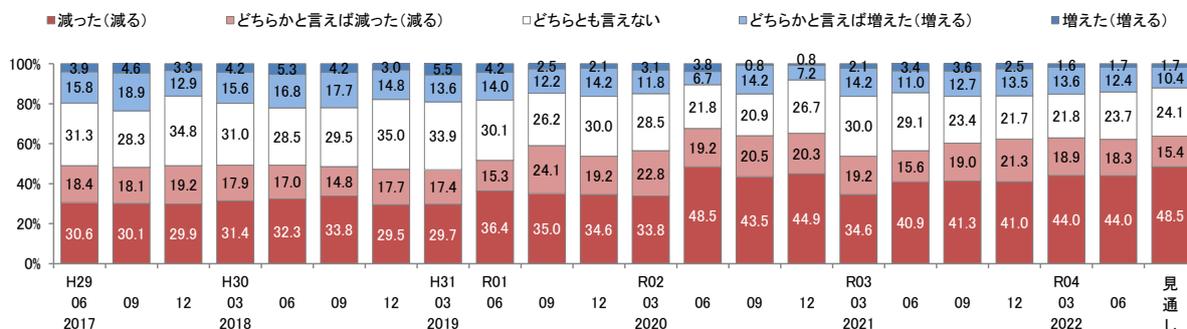
図表 4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



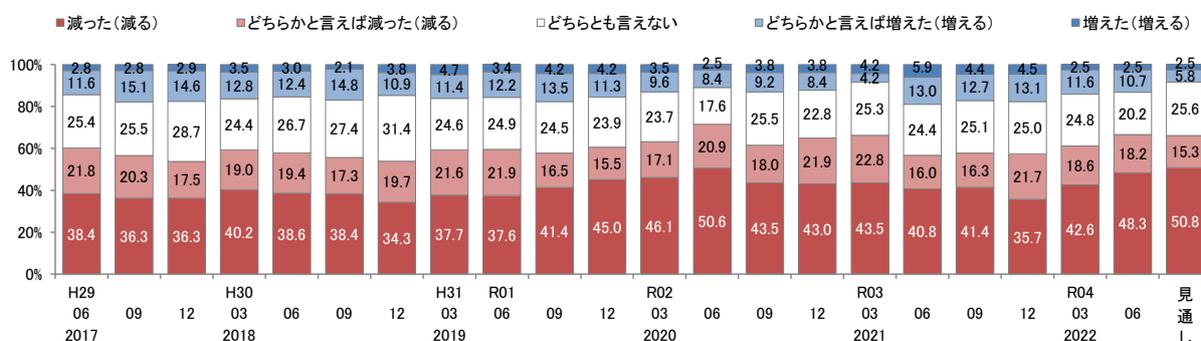
調査時期	暮らし向き判断指数					
		世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
02年 12月	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3	
03年	3月	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9
	6月	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7
	9月	▲ 44.0	▲ 10.2	▲ 9.7	▲ 12.0	▲ 12.1
	12月	▲ 42.3	▲ 10.6	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 12.3
04年 3月	▲ 47.6	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.0	▲ 13.4	
04年 6月	▲ 48.0	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 10.4	▲ 13.9	
	(前期比)	(▲ 0.4)	(0.0)	(▲ 1.5)	(▲ 0.5)	
	(前年同期比)	(▲ 7.2)	(▲ 1.3)	(▲ 3.3)	(▲ 2.2)	
04年 見通し	▲ 52.0	▲ 12.3	▲ 13.3	▲ 11.9	▲ 14.5	
	(前期比)	(▲ 4.0)	(▲ 1.0)	(▲ 0.9)	(▲ 0.6)	

## (2) 暮らし向き判断の推移

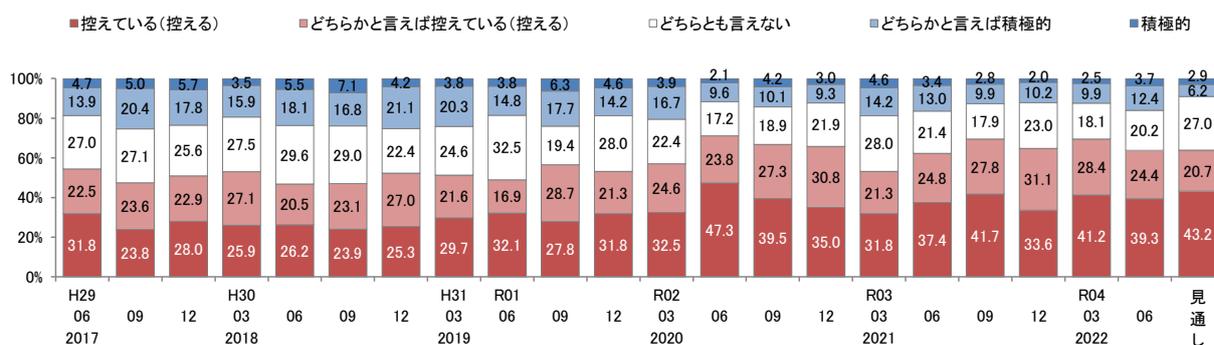
### ① 世帯（勤労）収入



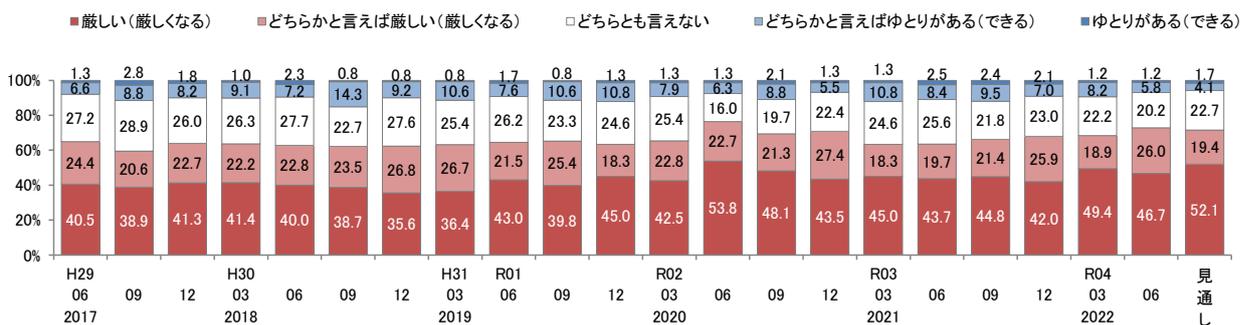
### ② 保有資産



### ③ お金の使い方



### ④ 暮らしのゆとり



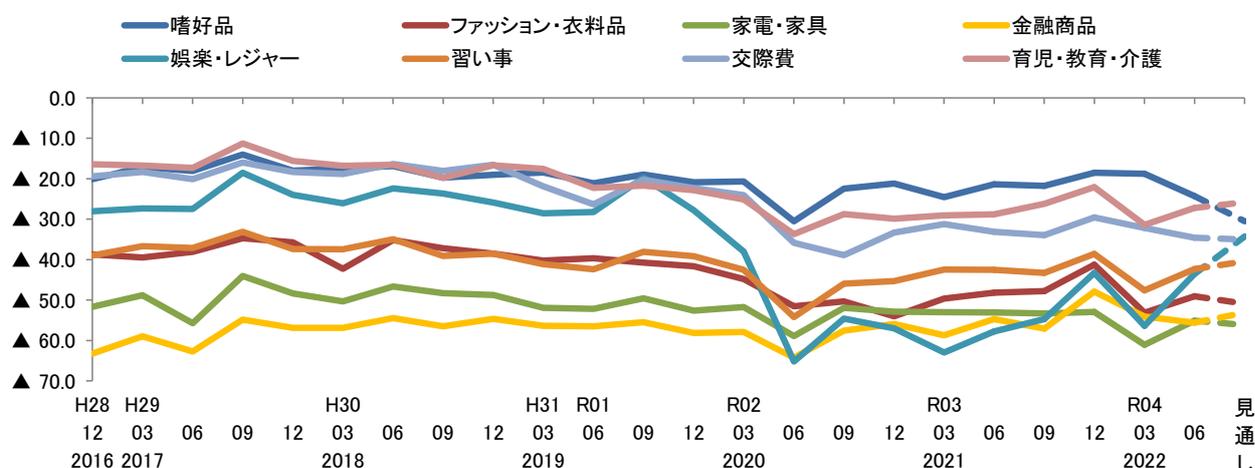
### III. 支出意向

#### (1) 支出意向DIの推移

支出意向DIの平均値は、▲41.5（前期比2.8ポイント上昇）と改善した。支出意向DIを構成する8つの項目をみると、「娯楽・レジャー」や「家電・家具」など5項目で改善となった一方、「嗜好品」など3項目で悪化となった。

今後の見通しは、▲40.8（今回調査比0.7ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 5 支出意向DIの推移



調査時期	支出意向DI									
		嗜好品	ファッション・衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽・レジャー	習い事	交際費	育児・教育・介護	
03年	3月	▲ 44.0	▲ 24.6	▲ 49.7	▲ 53.0	▲ 58.8	▲ 63.0	▲ 42.5	▲ 31.3	▲ 29.1
	6月	▲ 42.4	▲ 21.4	▲ 48.2	▲ 53.1	▲ 54.7	▲ 57.8	▲ 42.5	▲ 33.2	▲ 28.8
	9月	▲ 42.3	▲ 21.8	▲ 47.8	▲ 53.4	▲ 57.1	▲ 54.8	▲ 43.3	▲ 34.0	▲ 26.2
	12月	▲ 36.8	▲ 18.6	▲ 41.3	▲ 53.0	▲ 48.0	▲ 43.3	▲ 38.6	▲ 29.6	▲ 22.1
04年	3月	▲ 44.3	▲ 18.8	▲ 53.2	▲ 61.1	▲ 54.1	▲ 56.4	▲ 47.6	▲ 32.2	▲ 31.4
04年	6月	▲ 41.5	▲ 24.3	▲ 49.1	▲ 55.1	▲ 55.6	▲ 43.6	▲ 42.4	▲ 34.6	▲ 27.3
	(前期比)	(2.8)	(▲ 5.6)	(4.1)	(5.9)	(▲ 1.5)	(12.9)	(5.3)	(▲ 2.4)	(4.2)
	(前年同期比)	(0.9)	(▲ 3.0)	(▲ 0.9)	(▲ 2.0)	(▲ 0.9)	(14.2)	(0.1)	(▲ 1.5)	(1.6)
04年	見通し	▲ 40.8	▲ 30.5	▲ 50.9	▲ 56.2	▲ 53.2	▲ 34.3	▲ 40.5	▲ 35.1	▲ 25.9
	(前期比)	(0.7)	(▲ 6.2)	(▲ 1.9)	(▲ 1.1)	(2.5)	(9.3)	(1.9)	(▲ 0.4)	(1.4)

#### 【DI値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

例) 嗜好品DI値

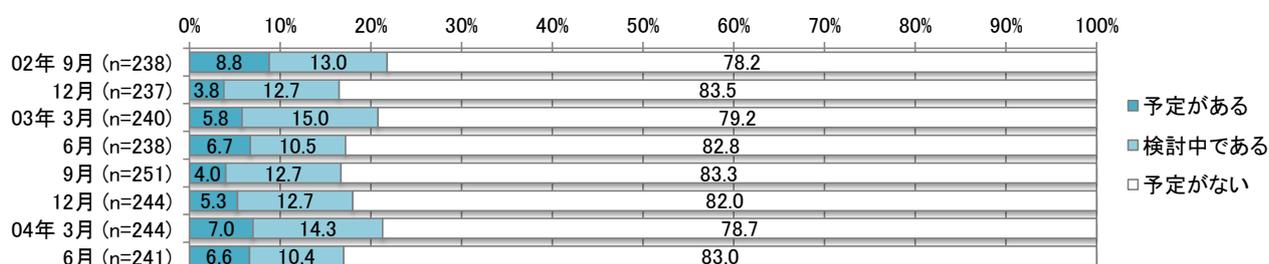
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

## (2) 支出意向 (大きな買い物) の推移

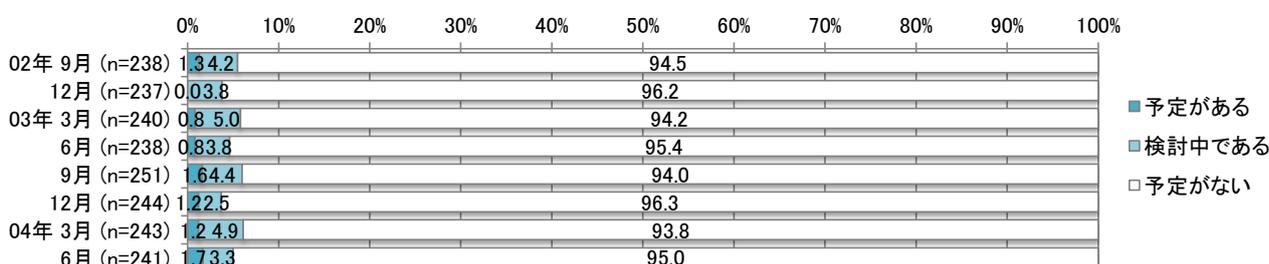
大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」が 6.6% (前期比 0.4 ポイント低下)、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」が 1.7% (前期比 0.5 ポイント上昇)、「住宅リフォーム」が 2.9% (前期比 1.7 ポイント上昇)、「海外旅行」は 0.4% (前期比 0.4 ポイント上昇)と、「自家用車 (中古車含む)」は低下となった一方、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」「海外旅行」は上昇となった。

大きな買い物 (支出) に前向きな世帯 (「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯) の割合は、「自家用車」「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」で低下となったものの、「住宅リフォーム」「海外旅行」で上昇となった。

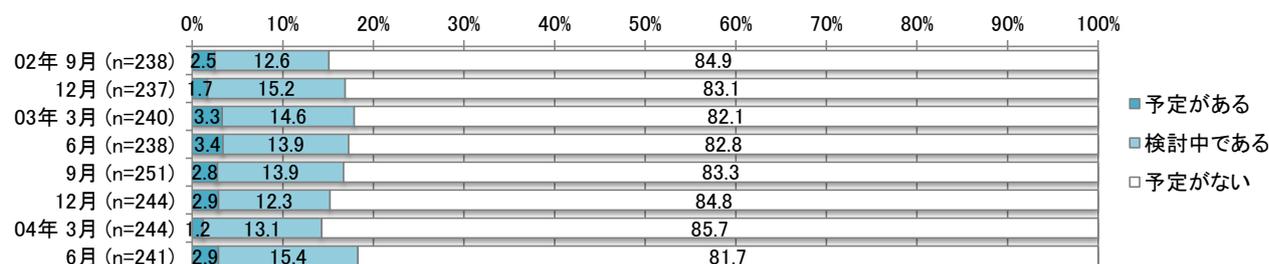
図表 6 自家用車 (中古車含む)



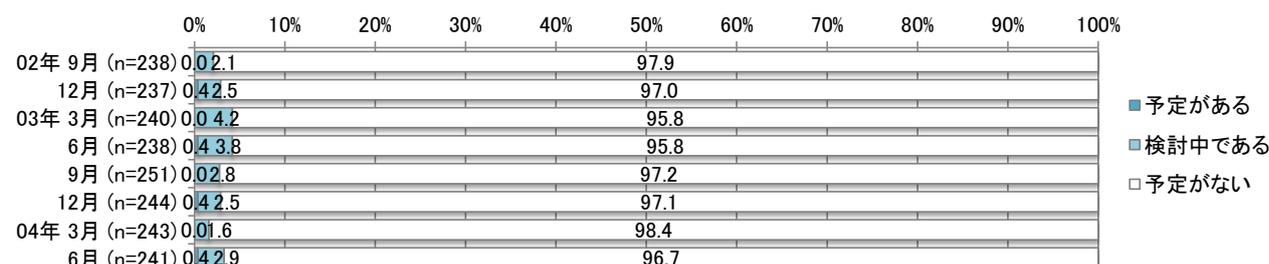
図表 7 住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地



図表 8 住宅リフォーム



図表 9 海外旅行

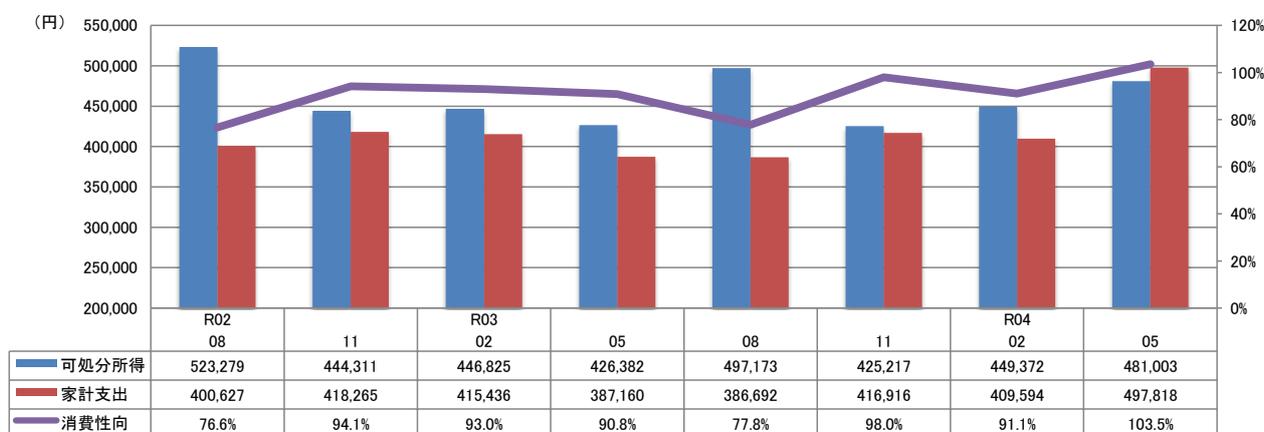


IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿 (243 世帯平均)

調査年月		(単位: 円)				
		03年 5月	04年 2月	04年 5月	前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	321,047	323,225	<b>326,885</b>	3,660	5,838
	世帯主の臨時給与《支給額》	1,300	984	<b>3,938</b>	2,954	2,638
	A. 世帯主の給与《支給額》	322,347	324,209	<b>330,823</b>	6,614	8,476
	世帯員の定例給与《支給額》	137,097	139,784	<b>129,789</b>	▲ 9,995	▲ 7,308
	世帯員の臨時給与《支給額》	0	171	<b>1,173</b>	1,002	1,173
	B. 世帯員の給与《支給額》	137,097	139,955	<b>130,962</b>	▲ 8,993	▲ 6,135
世帯収入合計 《支給額》 (A+B)		<b>459,444</b>	<b>464,164</b>	<b>461,785</b>	▲ 2,379	2,341
收 入	世帯主の定例給与《手取り額》	252,955	255,182	<b>259,418</b>	4,236	6,463
	世帯主の臨時給与《手取り額》	988	772	<b>3,586</b>	2,814	2,598
	C. 世帯主の勤労収入合計 《手取り額》	253,943	255,954	<b>263,004</b>	7,050	9,061
	世帯員の定例給与《手取り額》	112,894	114,811	<b>109,243</b>	▲ 5,568	▲ 3,651
	世帯員の臨時給与《手取り額》	1,266	171	<b>1,095</b>	924	▲ 171
D. 世帯員の勤労収入合計 《手取り額》	114,160	114,982	<b>110,338</b>	▲ 4,644	▲ 3,822	
世帯勤労収入合計 《手取り額》 (C+D)		368,103	370,936	<b>373,342</b>	2,406	5,239
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付 (老齢、障害、遺族年金)	4,127	42,915	<b>7,971</b>	▲ 34,944	3,844
	2. 保険給付金 (医療、介護、失業保険)	1,867	947	<b>1,646</b>	699	▲ 221
	3. 各種手当 (児童手当など)	6,624	16,114	<b>2,436</b>	▲ 13,678	▲ 4,188
	4. 利息、株式配当、投信分配金	1,303	1,169	<b>1,641</b>	472	338
	5. 事業収入 (個人事業、農林水産業など)	63	0	<b>757</b>	757	694
	6. 不動産収入 (駐車場、アパート家賃など)	5,257	4,078	<b>3,107</b>	▲ 971	▲ 2,150
	7. 有価証券売却・解約金 (株、投資信託など)	841	0	<b>405</b>	405	▲ 436
	8. 不動産売却 (土地、住宅、マンションなど)	0	0	<b>0</b>	0	0
	9. 中古品売却 (リサイクルショップなど)	812	365	<b>737</b>	372	▲ 75
	10. 保険満期返戻金	13,457	4,265	<b>2,091</b>	▲ 2,174	▲ 11,366
	11. 保険一時金 (生命保険、損害保険など)	2,658	600	<b>14,699</b>	14,099	12,041
	12. 相続、贈与、退職金	1,266	1,510	<b>42,181</b>	40,671	40,915
	13. 祝金、謝礼金、香典など	300	257	<b>2,472</b>	2,215	2,172
	14. 身内からの仕送り	3,860	1,804	<b>8,384</b>	6,580	4,524
	15. 借入れ (カードローン、キャッシング)	13,018	1,437	<b>4,643</b>	3,206	▲ 8,375
	16. その他	2,826	2,975	<b>14,491</b>	11,516	11,665
E. その他収入 (控除後)	58,279	78,436	<b>107,661</b>	29,225	49,382	
I. 収入計 (C+D+E)		<b>426,382</b>	<b>449,372</b>	<b>481,003</b>	31,631	54,621
支 出	1. 食費 (飲食会費は含まない)	53,359	53,963	<b>55,317</b>	1,354	1,958
	2. 住居費 (家賃、駐車場、修繕)	18,574	27,613	<b>25,063</b>	▲ 2,550	6,489
	3. 水道・光熱費 (電気、ガス、上下水道、灯油など)	26,659	42,241	<b>30,184</b>	▲ 12,057	3,525
	4. 生活用品 (生活雑貨、家事消耗品など)	11,674	11,827	<b>12,046</b>	219	372
	5. 被服・装飾費 (衣服、アクセサリー等)	8,959	8,389	<b>9,756</b>	1,367	797
	6. 医療・介護・理美容 (通院、医薬品など)	14,092	13,842	<b>16,621</b>	2,779	2,529
	7. 交通費 1 (バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	2,262	1,688	<b>3,120</b>	1,432	858
	8. 交通費 2 (ガソリン代)	15,363	17,690	<b>16,482</b>	▲ 1,208	1,119
	9. 自動車関連費用 (車検、メンテナンス、タイヤなど)	12,301	14,536	<b>27,980</b>	13,444	15,679
	10. 通信費 (電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	23,014	21,761	<b>22,887</b>	1,126	▲ 127
	11. 教育費 (授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	23,712	10,924	<b>17,845</b>	6,921	▲ 5,867
	12. 育児費 (子ども用品、保育園、幼稚園など)	4,054	5,786	<b>3,691</b>	▲ 2,095	▲ 363
	13. 交際費 (飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	11,163	9,145	<b>11,056</b>	1,911	▲ 107
	14. 娯楽、趣味 (旅行、レジャー、映画鑑賞など)	6,287	5,503	<b>9,543</b>	4,040	3,256
	15. 習い事 (英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	3,441	2,645	<b>2,680</b>	35	▲ 761
	16. 高額商品 (パソコン、家電、家具、インテリアなど)	5,187	23,279	<b>9,832</b>	▲ 13,447	4,645
	17. 金融商品 1 (株、国債、外貨、金など)	5,138	2,078	<b>5,858</b>	3,780	720
	18. 金融商品 2 (投資信託、変額・定額年金保険)	8,262	14,480	<b>10,452</b>	▲ 4,028	2,190
	19. 借入返済 1 (住宅ローン)	30,258	29,694	<b>110,867</b>	81,173	80,609
	20. 借入返済 2 (自動車、学資、カードローン)	12,453	16,586	<b>11,715</b>	▲ 4,871	▲ 738
	21. 税金、各種保険料支払い (給与天引き以外)	52,686	36,578	<b>49,644</b>	13,066	▲ 3,042
	22. 身内への仕送り (学生など)	8,876	8,123	<b>6,403</b>	▲ 1,720	▲ 2,473
	23. 小遣い、その他	29,386	31,223	<b>28,776</b>	▲ 2,447	▲ 610
II. 支出計		<b>387,160</b>	<b>409,594</b>	<b>497,818</b>	88,224	110,658
平均消費性向 (支出計 ÷ 収入計 × 100)		90.8%	91.1%	<b>103.5%</b>	12.4%	12.7%
平均貯蓄性向 (1 - 平均消費性向)		9.2%	8.9%	<b>▲ 3.5%</b>	▲ 12.4%	▲ 12.7%

図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 481 千円と前年同期に比べて 55 千円の増加となった。収入のうち、「世帯勤労収入合計（手取り額）」は 373 千円（前年同期比 5 千円増加）で、内訳は、「世帯主の勤労収入合計（手取り額）」が 263 千円（前年同期比 9 千円増加）、「世帯員の勤労収入合計（手取り額）」が 110 千円（前年同期比 4 千円減少）であった。「その他収入（控除後）」は 108 千円（前年同期比 49 千円増加）で、内訳をみると、増加額の大きな項目は「相続、贈与、退職金」（前年同期比 41 千円増加）、「保険一時金（生命保険、損害保険など）」（前年同期比 12 千円増加）となり、減少額の大きな項目は「保険満期返戻金」（前年同期比 11 千円減少）となった。

支出面では、支出計が 498 千円と前年同期比で 111 千円の増加となった。内訳をみると、増加額の大きな項目は「借入返済 1（住宅ローン）」（前年同期比 81 千円増加）、「自動車関連費用（車検、メンテナンス、タイヤなど）」（前年同期比 16 千円増加）となり、減少額の大きな項目は「教育費（授業料、教材費、学習塾、部活費用など）」（前年同期比 6 千円減少）となった。

この結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 103.5%となり、前年同期に比べて 12.7 ポイントの上昇となった。

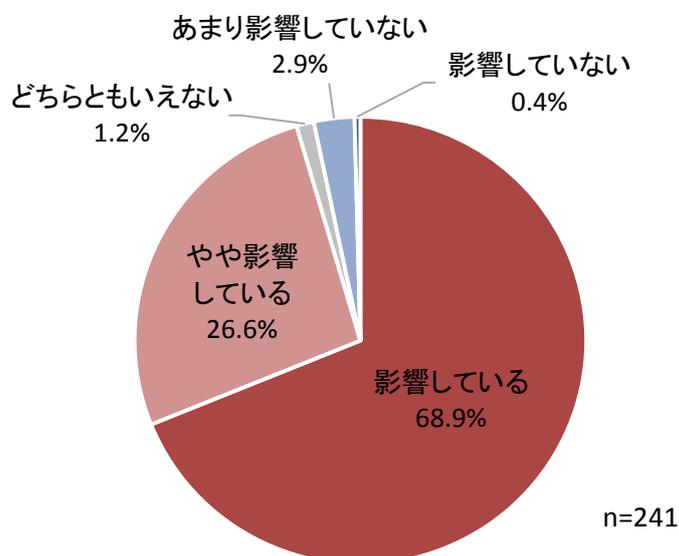
## V. 特別調査

### 1. 商品の値上げによる家計への影響について

#### (1) 値上げの家計への影響について

商品・サービスの値上げが家計にどの程度影響しているか尋ねたところ、「影響している」が 68.9%と最も多く、次いで「やや影響している」が 26.6%となり“影響している”（「影響している」+「やや影響している」）と回答した割合は 95.5%と、9 割以上が家計へ一定以上の影響を感じている結果となった。

図表 12 値上げの家計への影響

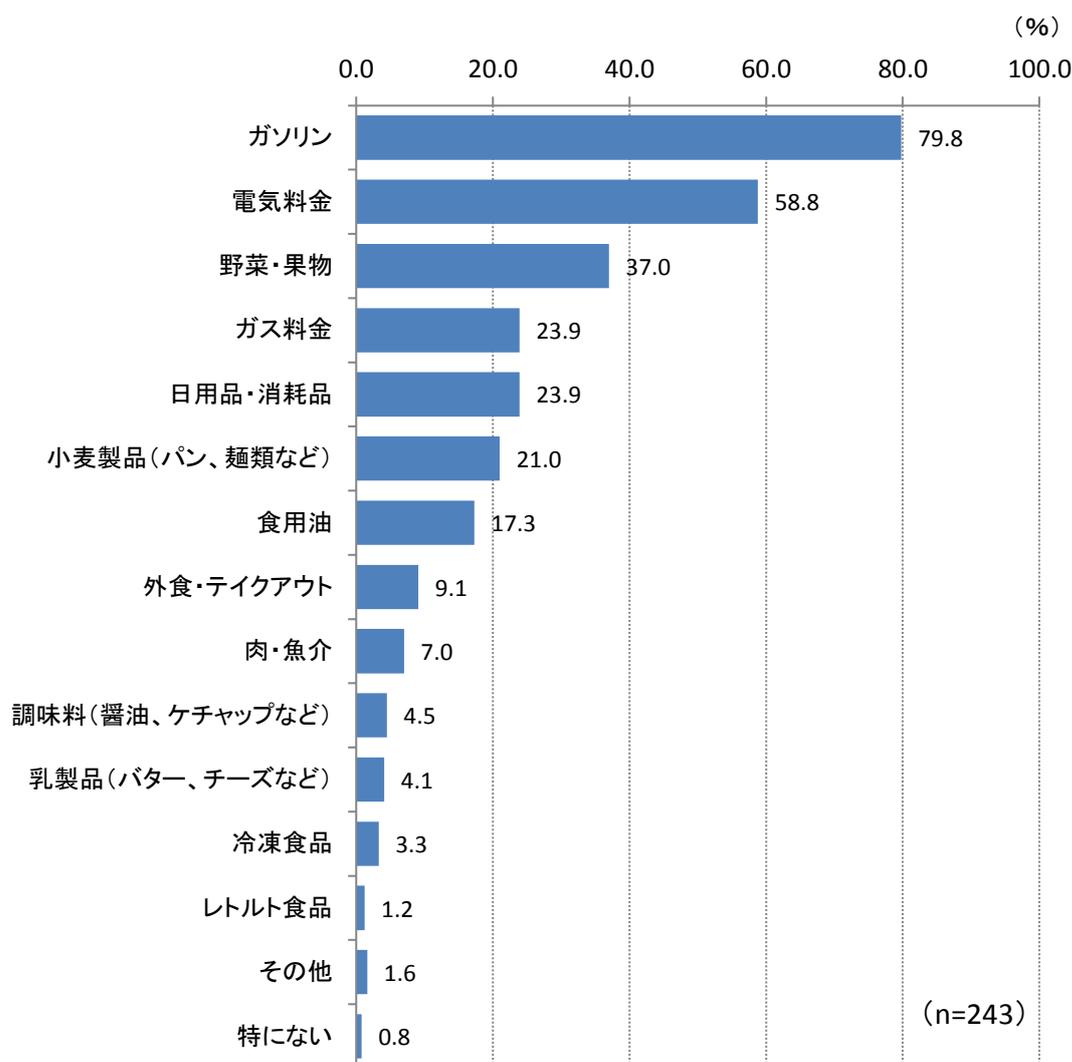


## （２）値上がりした商品等に対する実感について

商品・サービスの値上がりについて、特に負担に感じる、または気になっている品目（複数回答）を尋ねたところ、「ガソリン」が 79.8%と最も高い割合となった。次いで、「電気料金」が 58.8%、「野菜・果物」が 37.0%、「ガス料金」が 23.9%となっている。

山形県内におけるレギュラーガソリンの平均小売価格は、前年同期と比較すると 1 リットルあたり 10 円以上の大幅な上昇となっており、価格の高騰は今後も続くと考えられている。県内では、日常的に自動車の使用が欠かせないとする世帯が多数を占めており、家計に与える影響は大きいとみられる。他に電気料金やガス料金など、生活において必須とされる項目は特に負担感が強かったと推測される。また、野菜・果物は、長期保存のためのまとめ買いなどが難しく、購入頻度が高くなることから、食料品の中でも特に負担に感じる機会が多かったものと考えられる。

図表 13 値上りを特に負担に感じる、または気になっている項目（複数回答）

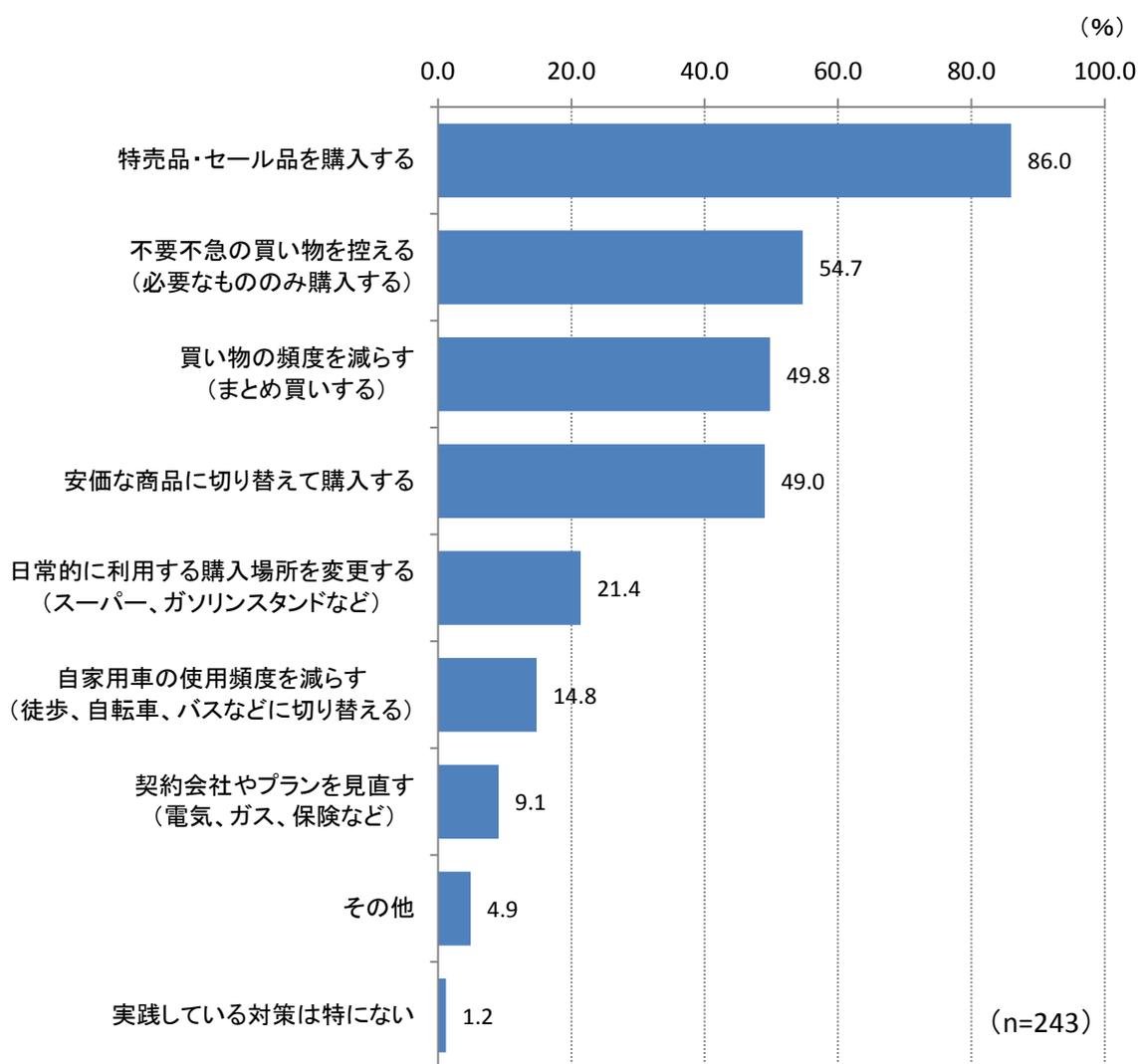


### (3) 値上げへの対策について

商品・サービスの値上げへの対策として、実践していること（複数回答）を尋ねたところ、「特売品・セール品を購入する」が 86.0%でもっとも高い割合となり、これに「不要不急の買い物を控える（必要なもののみ購入する）」が 54.7%で続き、以下は「買い物の頻度を減らす（まとめ買いする）」（49.8%）、「安価な商品に切り替えて購入する」（49.0%）、「日常的に利用する購入場所を変更する（スーパー、ガソリンスタンドなど）」（21.4%）などの順となった。

「その他」の項目では、家電製品の買い替えや「高い食材は避けて、安い食材で作れるレシピに変更する」など献立の工夫に関する内容がみられた。

図表 14 値上げへの対策として実践していること（複数回答）



## VI. 調査の概要

### 1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の内容

- ◆ 郵送およびインターネット調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：258 世帯 有効回答数：243 世帯 回答率：94.2%

### 3. 回答モニター属性



### 4. 調査の対象者

- ・ 山形県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数 2 人以上の世帯）

### 5. 調査期間

- ・ 令和 4 年 6 月 1 日（水）～15 日（水）

#### <お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研  
 リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子  
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F  
 TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038  
 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : https://www.fir.co.jp/